

50<sup>th</sup>  
Anniversary

一般社団法人

宮崎県理学療法士会

創立50周年記念誌





## ご挨拶

一般社団法人 宮崎県理学療法士会 第8代会長

中田 洋輔

宮崎県理学療法士会が創立 50 周年を迎えられましたことは、誠に光栄であり県民の皆様をはじめこの 50 年間に支えて頂いた諸先輩方並びに本土会に対するご支援、ご協力を賜りました数々の関連団体の方々に深く敬意を表し心から感謝を申し上げます。

宮崎県理学療法士会は、昭和 48 年に僅か 8 名の会員で立ち上げられました。現在の会員数は約 1,100 名によって組織づくりを行っております。創立当時はまだ宮崎県には理学療法士養成校はなく昭和 57 年に宮崎リハビリテーション学院が開校し昭和 60 年に 32 名の理学療法士が宮崎県に誕生しました。現在では西都市（宮崎医療福祉専門学校）、都城市（都城リハビリテーション学院）と県内に 3 校の養成校により理学療法士の育成が行われています。宮崎県理学療法士会は、6 つのブロックに分かれて医療機関や介護施設、養成校、行政機関など地域支援活動も含めて地域に根差したリハビリテーション支援活動を行っています。

宮崎県は地域リハビリテーション活動を先駆的に始めた県でもあります。当時医療完結型であった時代に退院後自宅への訪問活動をはじめ自治体への啓蒙活動も含めたボランティア活動から始まったことを記憶しています。のちに宮崎県で開催される地域リハビリテーション研修会は連年研修として錚々たる講師陣で開催されており、現在の介護保険制度の必要性を肌で感じる研修会でもありました。

また学術的活動では、2011 年に発災した東日本大震災の年に第 46 回日本理学療法学会大会を開催し、会期中は「がんばろう！日本」を合言葉に 4,000 名近い参加者と震災復興支援チャリティーで復興を願いました。これを機に「地域包括ケアシステム」の推進、構築に向けた多職種連携推進活動が活発に展開され 2015 年に 3 団体で宮崎県リハビリテーション専門職協議会を立ち上げ、地域ケア会議や通いの場での介護予防運動指導と運動評価そして自治体通所事業へのアドバイスなど宮崎県健康長寿社会づくりに寄与をしています。

2024 年はトリプル改定の年であり効率的な医療・介護制度の見直しや障害福祉サービスでの医療連携など私達理学療法士に係る社会性は大きく拡大し、ゼネラルな視点を兼ね備えた役目を担うことになるでしょう。その為には健康増進、介護予防、急性期、回復期、生活期、地域リハビリテーション活動支援事業それぞれに特化したリハビリテーションの専門職として職能的、学術的な品性の陶冶を目指して努めてまいります。今後の理学療法士の活動に対し、より一層のご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

一般社団法人 宮崎県理学療法士会

# 創立50周年記念誌

祝 辞



---

---

## 祝 辞

公益社団法人 日本理学療法士協会 会長  
齊藤 秀之

---

---

一般社団法人宮崎県理学療法士会が創立 50 周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

はじめに、昭和 48 年に会員 5 名で発足され、平成 5 年に社団法人としての認可を受けられ「社団法人宮崎県理学療法士会」を設立、さらに平成 25 年に「一般社団法人宮崎県理学療法士会」に移行されました。この間、理学療法を通して宮崎県民の医療・保健・福祉の増進に寄与されてこられました歴代会長、役員、会員、関係者の皆様の並々ならぬご努力に深く敬意を表する次第です。

宮崎県の木に制定されている木の 1 つに「フェニックス」があります。その花言葉は「躍動感」です。しなやかに美しい葉が四方に広がることから名付けられた様は、まさに貴会の活動そのものと言って過言ではないと思います。また、県の花の 1 つに「山桜」があります。その花言葉は「あなたに微笑む」です。山の木々が芽吹くのに先駆けて咲く上品な花を見ると、思わず笑みがこぼれてしまうところがその由来と聞いております。「純潔」「高尚」「淡泊」という花言葉もあり、会の発足以来、宮崎県民から愛され、数々の困難な課題を高尚に淡泊に解決され、その純潔さや上品さは県民を笑顔にするばかりか、不死鳥のごとくその人生を豊かにされてこられたと思います。そして、この度 50 周年を迎えられた貴会の推進力は、まさに「躍動感」の花言葉に集約されると思慮しています。そして、その「躍動感」のもと一致団結して取り組まれた成果として、様々な公益活動の活動実績があると推察しています。貴会が 50 周年を迎えられた今、不死鳥のごとく永続的に宮崎県民に微笑みかけて頂けることをご期待申し上げます。

さて、21 万人の国家資格者を輩出してきた我々理学療法士の将来を見据えた時に、国民本位の現場実践力を醸成する、職場・地域単位での理学療法士の質向上に連動する卒後研修に取り組む必要があります。その成功の鍵は、都道府県理学療法士会はもとより、市区町村での理学療法士の組織的活動や社会実学の実践と想像されます。実現の暁には、より国民の寄り添う専門職納組織として社会の中で確固たる存在になると確信しています。

50 年にわたり九州の地で着実な歩みを一步一步積み重ね、確実にその業績を築いてこられた貴会の皆様には、これからの日本理学療法士協会の大きいなる挑戦の先導役として、今まで以上のご活躍を期待します。

最後になりますが、50 周年を機に、貴会が中田洋輔会長の強力なリーダーシップのもと、更にご発展されること、ならびに会員の皆様の一層のご活躍とご健康を心より祈念いたします。



---

祝 辞

参議院議員

田中 昌史

---

宮崎県理学療法士会が創立 50 周年を迎えられますことに心からお祝い申し上げます。中田洋輔会長はじめ歴代の会長や役員および会員皆さまの長年にわたるご活躍に敬意を表します。

昭和 41 年に 168 名の理学療法士が誕生してから 57 年が経ち、全国 20 万名を超えるに至っていますが、この間に急速な少子高齢化、人口減少と労働力不足、経済低迷と実質賃金の減少など、地域に暮らす方々を取り巻く環境は厳しい現状となっています。

医学知識および技術の高度化と共に貴会におかれましても研修等による人材育成を推進され、対象者の生活動作水準向上、予防、保健、健康増進を含む地域包括ケアの推進など地域社会への貢献に努めてこられました。貴県選出の国会議員からも貴県会員各位の地域におけるご活躍を高く評価されていることを聞いています。

これからの理学療法および理学療法士のあり方を考える時、その目的は対象者の基本動作の回復から地域での自立生活と QOL の向上、さらには予防等による健康寿命の延伸、最終的には地域の労働力と経済の発展、住民の well-being を図っていくこととなります。理学療法士に求められるアウトカムが時代と共に変わっていく中、国そして地域社会の課題解決に貢献する専門職として、貴会の益々のご発展ならびに会員各位の益々のご健勝を祈念申し上げます。



---

---

## 祝 辞

宮崎県知事

河野 俊嗣

---

---

一般社団法人宮崎県理学療法士会が創立50周年を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

皆様方におかれましては、半世紀の長きにわたり、医療や介護の現場において、リハビリテーションを通じて、本県の保健医療の充実に御尽力をいただいておりますことに深く敬意を表するとともに、心から感謝申し上げます。

さて、現在、我が国では高齢化が急速に進行しており、本県においても今後、医療や介護の需要が更に増加することが見込まれております。

そのような中、誰もが住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けるためには、皆様方の知識や技術により、高齢者の生活機能の改善を図ることが大変重要であります。

さらに、「人生100年時代」においては、全ての人が元気に活躍し続けられる社会、安心して暮らすことのできる社会をつくることが重要な課題となっており、患者等の運動器疾患からの復帰支援に関わっておられる皆様方の果たす役割は、今後更に大きくなるものと考えております。

県としましても、理学療法士の養成や資質向上は、地域医療・介護の充実のために大変重要であると考えておりますので、今後とも皆様のより一層の御理解と御協力をお願いいたします。

結びに、宮崎県理学療法士会のますますの御発展と皆様の御健勝を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



---

祝 辞  
宮崎県議会議長  
瀨砂 守

---

一般社団法人宮崎県理学療法士会が創立50周年の節目を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

皆様方におかれましては、日頃から、怪我や病気等の患者の身体運動機能の回復や維持・向上を図りながら、県民の健康な暮らしを支えていただいていることに対しまして、心より敬意を表する次第であります。

さて、我が国の厚生白書において、「医学的リハビリテーション」の重要性が初めて指摘されたのは、昭和35年のことでありました。その後、国内で理学療法が研究・実践される中、昭和48年に宮崎県理学療法士会が設立され、現在では、理学療法士は人々の暮らしの中で必要不可欠な存在となりました。

健康に不自由のない生活を送ることは、全ての人にとっての理想であり、超高齢社会にある我が国においては、理学療法士の皆様に寄せられる期待は一層大きくなってまいります。

また今後も、少子高齢化、医療技術の高度化、医療サービスへの需要の多様化など、私たちを取り巻く環境が大きく変化していく中で、県民の理学療法に対する信頼を確保しながら、質の高いサービスを安定的に提供できる体制を構築することがますます重要になってまいります。

どうか、皆様方におかれましては、会員間での連携をより密にしながら、引き続き、県民の健康な暮らしを守るという崇高な使命のもと、本県の医療・保健・福祉の向上に御尽力賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

私ども宮崎県議会といたしましても、皆様方とともに、県民誰もが安心して元気に暮らせる宮崎づくりに、全力を上げて取り組んでまいりますので、変わらぬ御支援、御協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、創立50周年を契機に、宮崎県理学療法士会がますます発展を遂げられますこと、並びに、皆様方の御健勝と御活躍を心から祈念申し上げ、お祝いのことばといたします。



---

---

## 祝 辞

宮崎市長

清山 知憲

---

---

一般社団法人宮崎県理学療法士会が創立50周年を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

貴会におかれては、昭和48年の発足以来50年の長きに渡り、リハビリテーションの推進や地域住民の健康づくりなど、地域社会の保健・医療・福祉の充実に幅広く貢献してこられたことに、厚くお礼申し上げます。また会員の皆様をはじめ関係者の皆様のたゆまぬご努力により、年々発展を遂げてこられたことに、深く敬意を表します。

さてご承知のとおり、我が国では、急速な少子高齢化、医療技術の高度化、また医療サービスへの需要の多様化等、医療を巡る環境が大きく変化しており、質の高い医療サービス等を安定的に提供できる体制を構築することが喫緊の課題となっております。

本市におきましては、今年の3月に第五次宮崎市総合計画を改訂し、戦略プロジェクトの一つである「誰一人取り残さない社会づくり」として、感染症対策の充実・強化やエビデンスに基づく病気の予防・早期発見の推進等、健康の増進・福祉の充実に取り組んでいるところでございます。

また基本計画の重点項目には、「2025年問題に対応した『医療・福祉の充実』」を掲げ、市民が安心して医療サービスが受けられるよう、医療や介護にかかる人材の育成や確保を図るとともに、住み慣れた地域での暮らしを支える地域包括ケアシステムの確立等をさらに推進することとしております。

市民の皆様が、できる限り住み慣れた地域で、生きがいを持ち、健康で安心して暮らすことができるまちづくりを進めるため、疾病予防と医療提供体制の充実を図ってまいりたいと考えております。

宮崎県理学療法士会の皆様方には、本市の保健・医療施策の取り組みに、引き続きご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

結びに、宮崎県理学療法士会のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝を心より祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



一般社団法人 宮崎県理学療法士会  
創立50周年記念誌

創立50周年記念式典

令和5年12月2日(土)  
ニューウェルシティ宮崎  
2F 高千穂の間

# 一般社団法人 宮崎県理学療法士会

## 創立 50 周年記念式典 式次第

<敬称略>

開会の辞	(一社) 宮崎県理学療法士会 副会長	湯地 忠彦
会代表挨拶	(一社) 宮崎県理学療法士会 会長	中田 洋輔
来賓祝辞		
	(公社) 日本理学療法士協会 会長	斉藤 秀之
	参議院議員	田中 昌史
	宮崎県知事	河野 俊嗣
	宮崎県議会議長	濱砂 守
	宮崎市長	清山 知憲
来賓紹介		
乾杯	(公社) 福岡県理学療法士会 会長	西浦 健蔵
歓談		
歌		米良 美一
万歳三唱	日本理学療法士協会九州ブロック会副会長	大山 盛樹
閉会の辞	(一社) 宮崎県理学療法士会 副会長	迫田 勇一郎

# 宮崎県理学療法士会創立 50 周年記念式典 ご来賓一覧

<敬称略>

(公社) 日本理学療法士協会会長	斉藤 秀之
参議院議員	田中 昌史
宮崎県知事	河野 俊嗣
宮崎県議会議長	濱砂 守
宮崎市長	清山 知憲
宮崎大学医学部附属病院整形外科 教授	帖佐 悦男
(一社) 宮崎県介護支援専門員協会 会長	牛谷 義秀
学校法人 日章学園宮崎医療福祉専門学校 学校長	相澤 潔
宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション部 教授	荒川 英樹
(公社) 福岡県理学療法士会 会長	西浦 健蔵
(公社) 福岡県理学療法士会 専務理事	近藤 直樹
(公社) 大分県理学療法士協会 会長	市川 泰朗
(公社) 長崎県理学療法士協会 会長	大山 盛樹
(公社) 長崎県理学療法士協会 副会長	小泉 徹児
(公社) 佐賀県理学療法士会 副会長	梅崎 政博
(公社) 熊本県理学療法士協会 会長	坂崎 浩一
(公社) 鹿児島県理学療法士協会 会長	平名 章二
(公社) 鹿児島県理学療法士協会 副会長	白尾 麻美
(公社) 沖縄県理学療法士協会 会長	小嶺 衛
(公社) 沖縄県理学療法士協会 副会長	立津 統
(一社) 宮崎県理学療法士会 前会長 (5代目)	東 明
(一社) 宮崎県理学療法士会 前会長 (7代目)	武田 禎彦
(一社) 宮崎県作業療法士会 会長	津輪元 修一
宮崎県言語聴覚士会 会長	倉澤 美智子
(一社) 宮崎県薬剤師会 会長	野邊 忠浩
(一社) 宮崎県看護師協会 会長	中武 郁子
(一社) 宮崎県社会福祉士会 会長	川崎 順子
宮崎県医療ソーシャルワーカー協会 会長	小森 有美子
(一社) 宮崎県介護福祉士会 会長	木場 圭一
宮崎県障がい者スポーツ協会 会長	斎藤 幸二
社会福祉法人 宮崎県社会福祉協議会 副会長	横山 幸子
株式会社カクイックスウィング宮崎営業所 所長	進藤 雅央

記念式典・記念公演 写真①



記念式典・記念公演 写真②



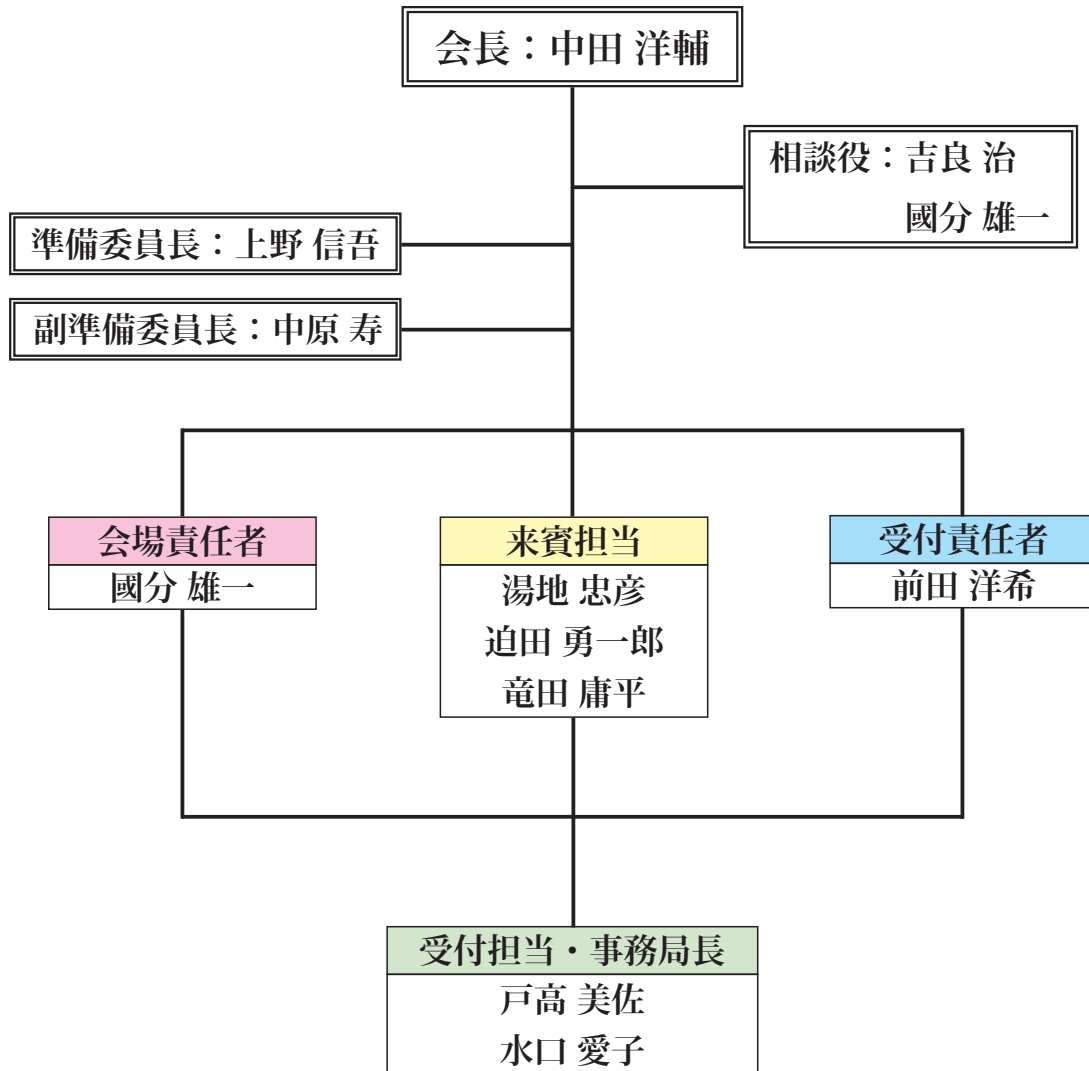
記念式典・記念公演 写真③



記念式典・記念公演 写真④



一般社団法人 宮崎県理学療法士会  
創立50周年記念式典 組織図



司会	：田中 由佳	
受付補助	：日高 悟	受付補助：佐藤 祐貴
受付補助	：加藤 友和	受付補助：坂東 泰裕
写真撮影	：中原 寿志	受付補助：西紗 久美
		受付補助：河野 千里



一般社団法人 宮崎県理学療法士会

# 創立50周年記念誌

50年のあゆみ

50年のあゆみ 写真①



昭和57年4月第1回入学式

# 理学療法士育てる

宮崎日日新聞 昭和五十七年四月十一日掲載

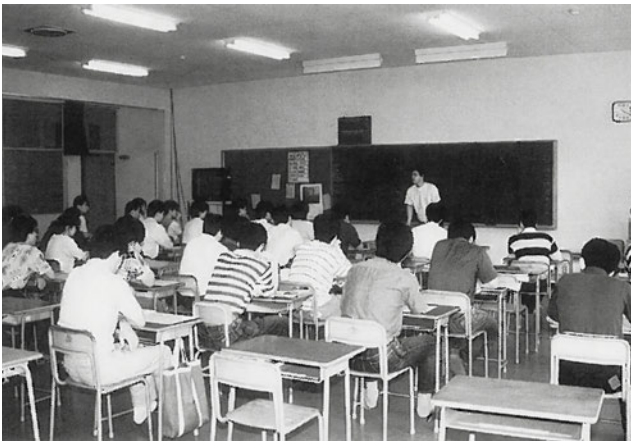
## リハビリテーション学院 一期生40人が入学

宮崎市小松に理学療法士を養成する宮崎リハビリテーション学院(大島純三学院長)が十日開校し第一期生四十人が入学した。全体的に不足している理学療法士を育てるため、財団法人潤和会(大野英男理事長)が潤和会記念病院の付随施設として開校したもので、県内では初。病氣や事故で障害を持つ人の機能回復訓練の治療、指導に当たるのが理学療法士。学院で三年間学んだあとに国家試験を受け療法士になる。

開校した同学院は鉄骨平屋建て約千九百平方メートル。普通教室三室、治療室、訓練室、装具加工室などがある。近くに病院、特別養護老人ホームがあり、学生たちが常に患者と接することができるのが特徴。

入校生の顔ぶれは高卒三十六人、大学卒四人。県外組十一人が含まれている。十四日から講義開始。三年間に一般学科、基礎医学、理学療法など知識と技術を学ぶ。講師には市内外の医師や教師も招く。

県内の理学療法士の有資格者は十二人しかいない。交通事故などでリハビリテーションを求めらる患者は増加、理学療法士のニーズは高い。



# 50年のあゆみ 写真②



50年のあゆみ 写真③



# 50年のあゆみ 写真④



## 一般社団法人 宮崎県理学療法士会

### 50年のあゆみ

#### —昭和—

- 昭和 48 年 4 月 宮崎県理学療法士会発足（会員数 8 名）  
【初代会長】 川村 和夫
- 昭和 58 年 8 月 臨時総会にて役員改選（7 部局と 4 ブロックで構成）（会員数 23 名）  
【2 代目会長】 長田 良晴
- 10 月 宮崎県理学療法士会ニュース第 1 号発行
- 昭和 60 年 11 月 第 7 回九州地区九州理学療法士・作業療法士合同学会開催（宮崎市）  
（会員数 40 名）
- 昭和 62 年 5 月 宮崎県理学療法士会定期総会 役員改選（会員数 66 名）  
【3 代目会長】 米田 睦男
- 昭和 63 年 10 月 宮崎県理学療法士会 15 周年式典（会員数 86 名）

#### —平成—

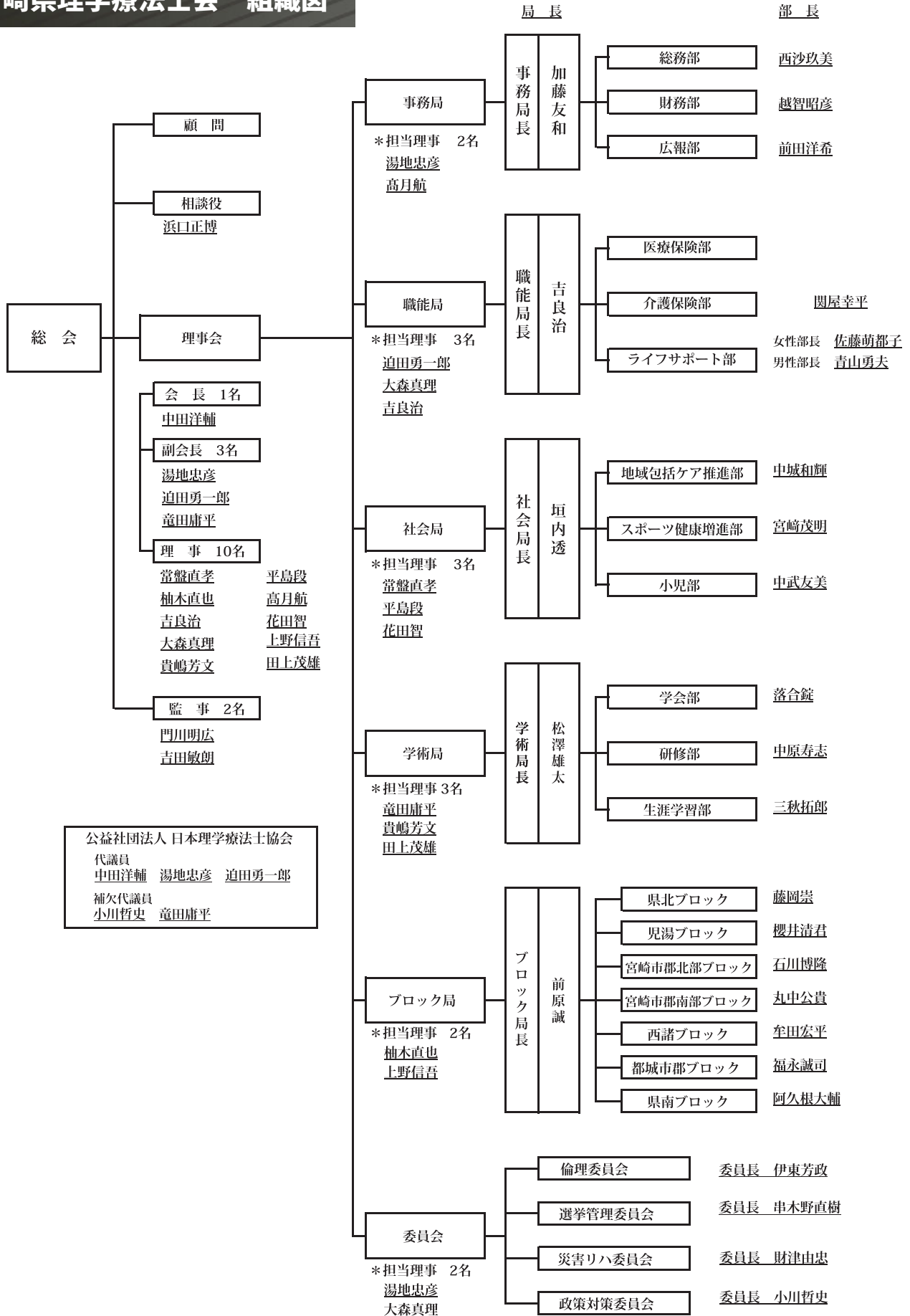
- 平成 4 年 3 月 第 1 回宮崎県理学療法学会（宮崎市）（会員数 156 名）  
11 月 宮崎県内車椅子トイレマップの作成
- 平成 5 年 10 月 社団法人宮崎県理学療法士会設立（10 月 4 日）（会員数 142 名）  
11 月 第 15 回九州地区九州理学療法士・作業療法士合同学会開催（宮崎市）  
11 月 社団法人宮崎県理学療法士会設立記念式典
- 平成 6 年 4 月 （社）宮崎県理学療法士会会報「日向灘」No.1 発行（会員数 182 名）
- 平成 9 年 11 月 宮崎県老人保健事業推進功労者表彰 団体の部受賞  
12 月 （社）宮崎県理学療法士会創立 25 周年記念式典・祝賀会（会員数 242 名）
- 平成 10 年 3 月 （社）宮崎県理学療法士会第 10 回総会 役員改選  
【4 代目会長】 榊 広光
- 平成 11 年 6 月 （社）宮崎県理学療法士会第 12 回総会 役員改選  
【5 代目会長】 東 明
- 10 月 （社）宮崎県理学療法士会と宮崎県作業療法士会が宮崎県知事宛に要望書を提出

- 平成 13 年 11 月 第 23 回九州理学療法士・作業療法士合同学会開催（宮崎市）
- 平成 16 年 6 月 （社）宮崎県理学療法士会第 23 回総会 役員改選  
【6 代目会長】 外山 憲治
- 平成 18 年 9 月 台風 14 号（ナービー）被害 事務局が約 180cm レベルまで浸水
- 平成 19 年 3 月 （社）宮崎県理学療法士会第 28 回総会 役員改選（会員数 500 名）  
【7 代目会長】 武田 禎彦
- 平成 21 年 1 月 symPaThy ～共感する～ Vol.1 発行
- 平成 23 年 5 月 第 46 回日本理学療法学会学術大会を宮崎（ワールドコンベンションセンター）にて開催
- 平成 25 年 3 月 （社）宮崎県理学療法士会第 40 回総会 役員改選  
【8 代目会長】 中田 洋輔
- 平成 25 年 4 月 社団法人から一般社団法人へ移行（会員数 884 名）
- 平成 26 年 7 月 第 1 回介護予防キャラバン in 西都市
- 平成 27 年 8 月 宮崎県理学療法士会・作業療法士会・言語聴覚士会により宮崎県リハビリテーション専門職協議会発足（平成 28 年度 会員数 1,000 名）
- 平成 29 年 11 月 九州地区九州理学療法士・作業療法士合同学会 in 宮崎開催（宮崎市）
- 平成 30 年 10 月 第 26 回日本物理療法学会学術大会 in 宮崎開催（宮崎市）

## —令和—

- 令和元年 10 月 第 1 回介護支援専門員とリハビリテーション専門職との合同フォーラム開催
- 令和 2 年 3 月 宮崎県で初のコロナウィルス感染確認
- 令和 5 年 5 月 コロナ5 類感染症移行
- 令和 5 年 12 月 宮崎県理学療法士会創立 50 周年記念式典開催（会員数 1160 名）

# 宮崎県理学療法士会 組織図





---

---

## 編集後記

---

---

創立50周年記念式典  
実行委員長 上野 信吾

宮崎県理学療法士会創立50周年にあたり、ここに記念誌を発刊できますことを大変嬉しく思います。

今回の発刊にあたりまして、令和5年12月2日に開催されました創立50周年記念式典と共に、本会の歴史を振り返れる内容を中心に編集いたしました。皆様に本会の歩んでまいりました50年の歳月に少しでも思いを馳せて頂ければ幸いです。

記載内容につきましては十分注意を払い編集を致しましたが、もし不正確な点がございましたら何卒ご容赦いただきますようお願い申し上げます。

最後に本記念誌の発刊にあたり、大変お忙しい中ご寄稿を賜りました皆様、編集にご協力いただきました士会の皆様に心より感謝を申し上げます。

### 宮崎県理学療法士会 創立50周年記念誌

発行日：令和6年2月22日  
発行人：一般社団法人 宮崎県理学療法士会  
事務局：〒880-0951  
宮崎県宮崎市大塚町窪田 3365-8  
TEL 0985-34-9120  
FAX 0985-34-9119



一般社団法人  
宮崎県理学療法士会  
Miyazaki Physical Therapy Association